

# 目 次

頁

## はじめに

### 第1章 横浜水道のあらまし

(1) 水道事業の沿革	4
(2) 横浜市の水道の仕組み	6
(3) 横浜市水道事業概況	8
(4) 給水量需要の推移	10
(5) 横浜市保有水源等	12
(6) 共同開発における事業者別保有水源等	12
(7) 年度別・月別給水量	14

### 第2章 横浜市の水道施設の紹介

(1) 水道事業の変遷	16
(2) ダム施設	18
(3) 取水施設	21
(4) 導水施設	22
(5) 浄水施設	23
(6) 送・配水施設	26
ア 配水ブロック図	26
イ 配水ブロック及び配水池	28
ウ 送・配水ポンプ	30
エ 管種別配水管延長	30
(7) 水道施設フローシート図	31
(8) 道志水源林	32

### 第3章 横浜水道の主要な事業

(1) 横浜水道長期ビジョン・中期経営計画の策定	36
(2) 中期経営計画（令和2年度～5年度）財政収支計画・実績	40
(3) 基幹施設整備事業	41
(4) 配水管整備事業	42
ア 総括表	42
イ 管網整備対策	43
ウ 老朽管対策	43
エ 漏水防止対策	44
(5) 相模貯水池堆砂対策事業	45

## 第4章 水道財政の概要

(1) 決算概要表	48
(2) 損益計算書	50
(3) 貸借対照表	51
(4) キャッシュ・フロー計算書	52
(5) 人件費及び職員数等	53
(6) 財務分析比率	54
(7) 企業債	56
ア 企業債の概要	56
イ 企業債未償還残高（各年度末）	57
ウ 利率別未償還残高内訳	58
(8) 国庫補助金等の収入額	59

## 第5章 横浜市の水道料金

(1) 令和3年7月料金改定	62
ア 水道料金表	62
イ 料金改定の概要	63
(2) 水道利用加入金単価表	65
(3) 用途別・年度別給水戸数、有収水量、料金収入	66
(4) 用途別・段階別給水戸数、有収水量、料金収入	68
(5) 用途別・基本超過別有収水量、料金収入	69

## 第6章 災害に強い水道づくり

(1) 応急給水計画	72
(2) 災害用地下給水タンク行政区別設置内訳	74
(3) 災害用地下給水タンク・配水池・耐震給水栓	75
(4) 緊急給水栓設置一覧表	76
(5) 災害に備えた防災訓練	78
ア 地域での防災訓練（応急給水訓練）	78
イ 民間事業者との合同防災訓練	78
(6) 飲料水の備蓄に向けた取組	80
(7) 災害に備えた水道施設の整備	80
(8) 老朽給水管改良促進事業	81
(9) 災害時の修理材料確保の取組	82
(10) 非常用発電設備の整備	83
(11) 燃料確保に向けた取組	83
(12) 放射性物質の測定	85

## 第7章 安全で良質な水をお届けするために

(1) 水質改善対策	87
ア 相模湖及び津久井湖に係る環境整備事業及び維持管理事業	87
イ 相模湖取水口におけるアオコフェンスの設置	88
ウ 道志村生活排水処理事業への助成	88
エ 活性炭注入による水質改善	89
オ クリプトスポリジウム対策（濁度管理等）	90
(2) 水質基準の構成と水質項目	91
(3) 水質検査の計画及び結果	93
ア 水源の水質検査地点	93
イ 市内水質検査地点	94
ウ 水質経年変化	95
エ 水質概要	98
(4) 給水装置、貯水槽水道の管理状況	100
ア 貯水槽水道の管理水準の向上	100
イ 受水槽容量による管理区分（横浜市）	102
ウ 受水槽水道の検査機関	102
エ 貯水槽水道啓発	103
(5) 直結給水の促進	105

## 第8章 工業用水道事業について

(1) 工業用水道事業の沿革	108
(2) 事業の概要	108
ア 保有水源（水利権）	108
イ 建設費及び建設資金概要	109
ウ 給水能力	109
エ 給水区域及び配水管延長	110
オ 工業用水の水質基準	110
(3) 財政状況	111
ア 決算概要表	111
イ 損益計算書	112
ウ 貸借対照表	113
(4) 工業用水道料金改定関係	114
ア 工業用水道料金改定の概要	114
イ 工業用水道料金の推移	115
ウ 中期経営計画（令和2年度～5年度）財政収支計画・実績	116

## 第9章 神奈川県内広域水道企業団について

(1) 創設事業の概要	119
(2) 相模川水系建設事業（第1期）の概要	120
(3) 給水量内訳	121
(4) 給水料金単価内訳	122
(5) 企業団給水料金収入内訳	123
(6) 構成団体別企業団受水量内訳	124

### 〈参 考〉

(1) 水道局組織一覧	128
(2) 水道局組織・事務分掌概要	131